

# 議会だより

2009年11月 北海道中川郡豊頃町議会発行



第3回定例会は、9月9日に招集され、補正予算のほか、平成20年度各会計歳入歳出決算認定、教育委員会委員の任命、条例の改正など29議案を、いずれも原案どおり可決・同意し、25日に一般質問等を行なって閉会しました。



一般会計ほか4特別会計で

総額8億3千万円の  
追加補正予算を可決

平成21年度一般会計ほか4特別会計が下表のとおり補正されました。  
おもな補正の内容は、ブロードバンド高速化を図るため光ファイバー網の設置を行う情報通信基盤整備事業、える夢館・大津コミュニティセンターへオストメイトトイレの設置を行う障害者自立支援特別対策事業、茂岩・豊頃・大津市街地へイルミネーションを設置する市街地環境整備事業、デジタルテレビ・教育用パソコン・校務用パソコンを購入設置する学校情報通信技術環境整備事業に要する経費等を計上したものである。

## 平成21年度各会計補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	7億9,120万6千円	50億4,078万7千円
国民健康保険特別会計	2,997万5千円	5億9,929万3千円
介護保険特別会計	879万1千円	3億701万7千円
後期高齢者医療特別会計	30万8千円	4,484万5千円
公共下水道特別会計	40万0千円	2億4,455万2千円

## 補正された主な内容

情報通信基盤整備事業（一般会計）	6億3,315万7千円
障害者自立支援特別対策事業（オストメイトトイレ設置ほか）	329万0千円
インフルエンザ予防対策	30万0千円
市街地環境整備事業（イルミネーション設置）	430万0千円
学校情報通信技術環境整備事業（デジタルテレビ・パソコン購入）	3,892万0千円
土地建物買収費等（まちづくり推進費）	223万6千円
用地等買収費等（消防費）	342万5千円





# ★ 行政報告 ★

第3回定例会において町長から行政報告がありました。

## ◆情報通信基盤整備事業について

現在、本町におけるブロードバンド整備率は約42パーセントとなっており、基盤整備が大幅に遅れている。

通信事業者に対して積極的な誘致活動を行った結果、茂岩市街地や大津市街地においてADSLサービスが提供されるなど、一定の成果をあげているが、継続的に通信事業者とエリア拡大について協議してきた結果、大規模な施設改修や資金が必要となることから、これ以上、通信事業者単独での整備拡大は難しいとの回答を受けている。

このような採算性の問題等から、通信事業者の事業展開が困難な地域における情報格差解消施策につきましては、国においても政府を挙げて取り組むべき喫緊の課題として位置づけられ、「地域情報通信基盤整備推進交付金」を創設、これにより、地方公共団体は各地域の特性に応じて基盤整備を行うことが可能となったところである。

そこで「地域情報通信基盤整備推進交付金」及び「地域活性化・公共投資臨時交付金」を活用し、本町の情報格差是正を図るため、情報通信基盤整備事業として6億3,000万円を一般会計補正予算に計上したところである。

計画の内容は、電話市内局番574番の全地域に、光ファイバー網を整備し、それらを通信事業者へ貸し出すことによりブロードバンド環境を整備する「公設民営方式」とする。

なお、対象から外れる市内局番575番の大津・長節・旅来・湧洞地区はADSLサービスの利用対応となりますが一部の世帯については現在の段階では、状況に応じて個々に対応をする方向で検討してまいりたい。

## ◆秋サケ漁の状況について

8月25日に水揚げが開始された秋サケ定置漁業については、9月10日現在、大津漁港での水揚げ量は604トンで、前年同期に比べ67トン、10パーセントの減となっている。

一方魚価はキログラム当たり平均363円と10パーセント程度の高値で推移している。

漁期前のサケマスセンターの発表によるエリモ以東西部地区の秋サケ来遊予測では、前年対比30パーセント減と直近の20年中で最低となっておりますが、盛漁期を迎える今後に期待をしているところである。

また、このような状況の中、本年6月及び7月の異常気象により十勝川が増水し、本町及び浦幌町沿岸に大量の流木が漂着したことから、河川管理者及び両町により一次集積を行い、サケ定置網漁業期を迎える8月中旬には作業が完了している。

今後解禁となるシシャモ、ツブ、カニ漁についても豊漁を期待しているところである。

## ◆農作物の作況について

「農作物の作況について」の報告もありましたが、委員会レポートで掲載していますので、ここでは省略いたします。

# 意見書

▷ 道路の整備に関する意見書

▷ 季節労働者対策の強化を求める要望  
意見書

いずれも原案可決され、  
関係省庁に提出されました。



# 平成20年度 豊頃町各会計の歳入歳出を認定

## 各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	繰越明許費繰越額	実質収支額
一般会計	4,266,079,132	4,186,875,410	79,203,722	27,573,000	51,630,722
国民健康保険特別会計	637,971,603	569,631,023	68,340,580		68,340,580
介護保険特別会計	297,793,270	286,059,173	11,734,097		11,734,097
老人保健特別会計	86,274,821	77,040,347	9,234,474		9,234,474
後期高齢者医療特別会計	43,414,959	43,106,488	308,471		308,471
医療施設特別会計	143,328,996	143,220,885	108,111		108,111
簡易水道特別会計	302,856,137	301,610,554	1,245,583		1,245,583
公共下水道特別会計	257,133,695	255,656,061	1,477,634		1,477,634

平成20年度の一般会計ほか7特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書とともに提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定すべきものと決定しました。各会計の決算額については、上記のとおりとなっております。

- Q** 定額給付金の申請状況はどのようになっているか。
- A** 9月14日で申請期間が終了し、1,490世帯が申請した。なお、居所不明1件、受取拒否2件の計3件が申請されなかつた。
- Q** 財政が厳しいと言われている中、人件費が増加しているが抑制はできないか。
- A** 従来もまた今後においても退職者があっても、職員採用を一定程度おさえながら職員数の抑制に努めてまいりたい。
- Q** 協働のまちづくり事業は17団体26事業が実施されているが主な内容は。また、住民側はどのようなものに支払いされるのか理解されていないようであるが、今後どう周知されるか。
- A** 農村部における町道の草刈り、排水の管理等が多いが、新たな事業もあることから、今後は事例紹介をするなどして広報で広く呼び掛けていきたい。
- Q** 簡易水道債の残高が5年間で5億も減少しているが、今後の見通しは。
- A** 茂岩及び二宮の簡易水道事業が同時期に整備していることもあり、これらのピークが過ぎていることと、平成19年から3年間で高利率の町債を繰上償還しており残高が減少している。しかし、これら浄水・配水施設及び管路等の償還が終わる時期には耐用年数も経過することから浄水・配水施設の更新について事業費の積算をしているところである。



## 政権交代による本町施策への影響

### 交付税を含む社会資本充当の確保に努力



大崎英樹議員 国の新体制下で今後の政策の見直しを明確にしている。本町の第4次総合開発計画の策定と執行に影響することを危惧するが。

宮口町長 次期国会に見込まれる補正予算の動向をみて考えたいが、地方自治体の意志を無視するような執行であれば到底容認する考えはない。

大崎英樹議員 地域活性化交付金の取り扱いや既に執行されている国や道の事業はどのように進展するのか。

宮口町長 この件については困惑している。一部内示の事業は着手しており、特に生活関連事業に

ついては単独事業を執行した内容のものについては進めていく考えではない。

大崎英樹議員 新政権で社会資本の見直しの部門で本町の基盤整備事業にはどのように対処するのか。

宮口町長 総合開発計画の中でも国庫補助事業「道路関連」等の生活路線は新政府に積極的姿勢で望みたい。

大崎英樹議員 第一次産業を中心とする、中・長期施策の問題点は。

宮口町長 農業の個別所得保障制度、FTA問題、特別措置法の改正等一自治体での対応は困難であり、十勝全体の問題として取り組んで行きたい。

大崎英樹議員 農業、漁業、林業の最重要産業の基盤整備事業について中・長期の概念から今後どのように進めるのか。

宮口町長 基盤整備を含め農協、漁協、森林団体と協議しながら積極的に進めると同時に国に対しても強力に押し進めたい。

大崎英樹議員 公共事業「災害、防災工事」の社会資本確保は。

宮口町長 国の無駄見直しに期待し、本町の住民生活安定と将来的展望を築くため、国からの交付税を含む社会資本充当の確保に努力する。

広報とよころ

役場だより

## ごみ処理最終処分場計画の進捗状況

### 町民の雇用促進に期待

大崎英樹議員 昨年9月議会での質問に対し、平成20年8月公害防止協定締結、平成21年2月十勝支庁との協議、3月には知事へ設置許可申請提出と伺っているが現段階の状況は。

宮口町長 現在、2月に予定していた北海道段階での事前協議が行われており非常に遅延している。本処理施設は一期10年計画であり施設建設工事は許可次第着工し平成22年度中に完成の見込みとなっている。

大崎英樹議員 企業が進出することに大歓迎の一人であり期待をしているが本町としても独自の働きかけをすべきと考えるが。

宮口町長 道庁内の業務多忙により相当時間が経過している事実のようでありますが出来得る限り事務処理を迅速に図るよう陳情に努力する。

大崎英樹議員 仮称「豊頃町環境衛生センター」という会社は登記されているか。

宮口町長 建物も該当場所には未建

築であり、また環境センターとしての機能は発揮しておりませんし登記もまだされていないと承知している。

大崎英樹議員 本町が期待できる内容として町内企業の参画、事業参加が出来るのか。また、施工参加はあり得るのか。

宮口町長 施設建設等は、地元企業力量により可能であり、特に資材・燃料等の供給は地元優先を基本に期待している。完成後は町内町民の雇用促進も図られ本町としての税収も見込まれる。完成後の埋め立て地利用も現在の工口推進の考えでグリーン、植樹地帯として活用し、その都度町と企業の協議の中で有効的な解決を図ることとしている。



産廃最終処分場建設予定地（安骨）



## 高齢者に暮らしの安心を

### リスト作成し見守り事業を展開

菅谷 誠議員 昨年は孤独死が多発し痛ましい事故であった。一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる環境づくりが不可欠であり孤独感の解消、引きこもり、不測の事故防止の対応については。

宮口町長 独居高齢者に対する見守りが必要な方のリストを作成中であり、見守り事業を展開する中で関係機関と協議して事業に係る有償ボランティアの募集を10月から始める。

菅谷 誠議員 特にインフルエンザの流行期になり更なる安否確認とサービスの回数を増やし万全を期すべくと考えるが。

宮口町長 不測の事故防止のため専門の方を臨時的に採用しており、その方を張り付けて実態把握し町全体で老人対策に努力する。

菅谷 誠議員 異常発見時の関係機関との連携支援、特に救急対策で健康保険証、かかりつけの病院の写真付きの薬説明書を安心カードとして町が購入配布した容器に入れ冷蔵庫に保管するよう指導し、救急救命隊

員の敏速な行動に役立てている町村もあるが本町でも検討してはいかがか。

宮口町長 本町も緊急対応メモを作成し見やすい場所に置き不測の事態に即応できるように十分な検討し作業を進めている。この件については担当者とも協議しながら新年度から実施できるものは積極的に取り組みたい。

## 新型インフルエンザ対策

### 発生した場合の対応は協議済み

菅谷 誠議員 予防の重要性と発生した場合の感染拡大防止に向けた関係機関との連携、対応策が確立されているか。

宮口町長 手洗い、うがいの励行等広報で周知するとともに、関係各課による対策会議を開催し公衆施設への消毒薬設置、発生した場合の対応等を協議している。

菅谷 誠議員 感染拡大を防ぐために町民のマスク、消毒薬の確保が重要であるがその対策は。

宮口町長 現在マスクは1950枚、消毒用アルコール241リットルを確保している。

菅谷 誠議員 予防ワクチンの必要

量の調達と高価格のため助成の考えは。

宮口町長 予防ワクチンの確保は厚生労働省からの通知を待つ段階である。費用についても厚生労働省の考えを見極めたうえで検討する。

菅谷 誠議員 十勝管内の小中学校でも集団感染が発生しているなか、本町においても学校、保育所での感染防止対策を検討し関係者に情報提供されたと認識するが現状については。

宮口町長 保育所、教育委員会、各学校、病院と協議して発生した場合の対応の手順は出来ている。

菅谷 誠議員 発熱外来と医療機関の対応について。

宮口町長 豊頃医院では発熱外来者に対して北側の救急治療室を新型インフルエンザの診療室として午前11時から正午までと午後4時から5時までの時間帯で診察を行う。



▶公共施設へ設置された消毒薬

## 福祉タクシー事業

### 対象者への周知に努める

大谷友則議員 福祉タクシー券交付事業は、2年目を迎えており、65歳以上の世帯に福祉タクシー券が交付されているが80歳以上の方は自動車を保有していても交付されませんが、65歳から79歳までの世帯は対象から外されている。65歳以上であれば全員対象にしてはいかがか。

宮口町長 65歳以上の全員対象については検討し、平等性に配慮して対応する。

大谷友則議員 対象者には直接連絡し、申請してもらう方法をとられてはいかがか。

宮口町長 周知徹底して申請していただく。

大谷友則議員 高齢化に伴い生活に必要な交通手段としてコミュニケーションバスの運行を全体的に計画しなければならぬように考えるか。

宮口町長 今後準備を整えるために12月からコミュニケーションバスとして3カ月間程度試験的に町内を運行しその後の計画に役立て、町民の足の確保をしていきたい。



## 基盤整備事業に伴う明渠排水、河川等の整備

### 計画的に整備に努めたい

森 一彦議員 町内各地で行われている基盤整備事業、わが町は今後事業は継続していかなければと考えるが。

宮口町長 本町は十勝川の最下流にあり、農地の地下水が高く湿害の受けやすいことから、排水対策として河川及び明渠排水の整備促進について全力を注いできたところである。特に、平成5年の大湿害を契機に基盤整備の重要性を認識し、明渠暗渠及び排水機場の整備に取り組んできた。今後も本町の基幹産業である農業の発展のために、河川及び明渠排水の整備について計画的に努力してまいりたい。

森 一彦議員 国、道が進めてきた暗渠排水の方法が砂利暗渠になり、降雨後すぐに暗渠排水出口から水が出てくる形になり、現在の排水路では途中であふれる状況になる。これら解決のための方策をどのように考えるか。

宮口町長 基本的に時代の流れと同

時に土地改良の工法が変わってきたと伺っている。内部で十分検討しながら、国、道に陳情してまいりたい。



6月22日～23日の大雨により冠水した圃場

## 冷・湿害対策

### 暗渠整備の予算化を検討

藤田博規議員 湿害面積と予想される減収額は宮口町長 本年の降雨量は、高台地域を除き、ほとんどの圃場が湿害の影響を受けたものと判断している。減収額は、今の段階での判断は大変難しく、収穫時期の降雨及び霜の状況によっては悪影響を及ぼすことも考えられ、推計は行っていないが、豊頃町長雨・日照不足等異常気象宮農対策会議において、影響度合いを確認していききたい。

藤田博規議員 排水不良圃場については、暗渠の整備をするにも多額の費用を要することから何らかの対策が必要と考えるが。

宮口町長 早急な暗渠整備の必要がある圃場については、宮農対策会議で、実施時期、主体、補助額など助成について検討したい。施工の負担割合は概ね半分は個人負担になろうかと思う。残りについては町と農協で予算化して対応に努めたい。

藤田博規議員 減収が予想される中、資金的な事が危惧される。また、今回の湿害を機に排水対策と土づくりの必要性を改めて思うところである。

今回の長雨においても平年並みの収量が見込まれる圃場もあるが、今後の見解を。

宮口町長 公的資金の発動など未確定なところが非常に多く、判断は難しいが、翌年度の宮農に支障を来さないように、資金の対応等を農協と協議をしながら進めたい。農業経営に大切なのは農地であり、自分の農地は自ら守る、自助努力で管理を十分にし、行政が支援するということが一番好ましいと思っている。今後も土地改良について積極的に頑張っていきたい。



湿害による生育不良の圃場

広報とよころ

役場だより

議会だより

▽一般質問



第4回臨時会(7月22日)

▼専決処分の承認

6月22日から23日にかけての大雨による被害を早急に復旧するため、平成21年度一般会計予算に、それぞれ2千977万5千円を追加し、予算の総額を40億2千624万円と定めることを6月26日専決処分したことを承認した。

▼一般会計の補正(第3号)

歳入歳出予算にそれぞれ2億619万1千円を追加し、予算の総額を42億3243万1千円とすることを可決した。

補正の内容は、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業として患者輸送車更新、こどもプラザ体育館壁・屋根塗装改修などの経費の追加をしたものである。

▼物品の取得

物品の購入にあたり指名競争入札で落札したが、取得価格が700万円以上の契約であることから議会の議決を求められた。取得する物品は冬期間の路面管理のための除雪機械13トン級の除雪ドーザで契約金額は1千806万円である

第5回臨時会(8月7日)

▼一般会計の補正(第4号)

歳入歳出予算にそれぞれ1千715万を追加し、予算の総額を42億958万円1千円とすることを可決した。

補正の内容は、農道、明渠排水、町道等の災害補修費および豊頃壘球倶楽部全国大会出場費用への助成。

★ 行政報告 ★

第5回臨時会において町長から行政報告がありました。

◆大雨による被害概要

7月27日から28日にかけて十勝地方の大雨は、本町での総雨量は統内66.5、二宮55.0、豊頃で46.5ミリメートルを記録し、特に27日19時から20時までに統内で23ミリメートルの記録的な集中豪雨があり、職員による町内河川の増水、道路、畑及び大津海岸線の巡視を行うなど情報収集に努め警戒態勢を執って万全を期した。

農業被害では、路面流失、明渠排水法面崩壊など17箇所975万円、林業被害では、法面流失など5箇所50万円、漁業被害では流木堆積40万円、土木被害では路面流失・河岸決壊など26箇所600万円、被害総額は1,665万円となっている。

◆豊頃壘球倶楽部全国大会出場

平成20年6月に「豊頃の名を全国に…」を合言葉に、ソフトボール好きな豊頃在住者や縁のある17名の仲間で作成した豊頃壘球倶楽部は、来る9月11日から名古屋市で開かれる全国大会に出場することになった。全国から集まる強豪を相手に、正々堂々と力量を十分に発揮され健闘されることを、期待する。

◆異常気象による農業の概況について

本年の農業概況は、6月中旬以降の低温・日照不足、その後の多量の降雨などの異常気象により、農作物の生育に影響が広がっていることから、8月4日、町及び農協により農作物の生育状況を調査するとともに今後の対応について協議した。

現地調査の結果、一部の排水不良圃場において、著しい生育不良とともに異常気象の影響を受け町内全域において生育の遅れを確認した。

今後の予報においても低温・日照不足が続き、農作物全般にわたって減収が懸念されることから、来る8月18日に農業関係団体で構成する「豊頃町長雨・日照不足等異常気象営農対策会議」を設置し、情報収集及び営農技術対策などにあたることとした。

★ 行政報告 ★

第4回臨時会において町長から行政報告がありました。

◆大雨による被害概要

6月22日から23日にかけての十勝地方の大雨は、本町での総雨量も豊頃で107ミリメートル、牛首別川(下農野牛)で91ミリメートル、特に22日23時から23日5時までに70ミリメートルを超える集中豪雨となった。

被害の状況は、農業被害では路面流失、明渠排水欠壊など19箇所805万円、林業被害では、路肩崩壊、路面流失など12箇所250万円、漁業被害では流木堆積40万円、土木被害では路肩欠壊など34箇所1,900万円、被害総額は2,995万円となっている。

なお、農作物の冠水被害面積は50ヘクタールであり、被害額は調査中である。



# 委員会レポート

町内の農作物の作況について、町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

6月中旬以降の低温・日照不足とその後  
の多量の降雨により本町全域において生育  
に影響が広がっている。この時点での作物  
ごとの生育状況は、大豆及び小豆が8月中  
旬に入って若干回復しているが、菜豆類を  
中心に湿害の影響を大きく受けた圃場では  
莢数の少なさが目立ち収量の減少が予想さ  
れる。甜菜、馬鈴薯についても降雨により  
適期防除ができなかったため、黄化・疫病  
の発生も見られる。大根は平年並みが期待  
されているところである。牧草について  
は、1番草が平年並みであったが、天候不  
順により収穫が長期化したため2番草の生  
育が遅れている。デントコーンは初期から  
生育が遅れて推移している。

すでに収穫作業の収量した小麦について  
は、収量は平年より減少し、品質の低下が  
懸念されている。

今後作業の遅れや、病虫害による被害、  
霜の降りる時期によっては豆類の収穫に悪  
影響に及ぼすことも考えられる。

今回の湿害が一部の排水不良圃場におい  
て著しい生育不良がみられることから、来

産業厚生常任委員会で8月27日に「農  
作物の作況について」所管事務調査  
を行いました。

年度以降の収穫に影響を与えることのない  
よう、明・暗渠排水対策などの農地基盤整  
備対策の早期実施、昨年度から行われてい  
る土層改良を目的とした排水不良圃場への  
泥炭客土の効果を引き出すため心土破砕等  
による排水性改善が求められていることな  
ども含め、全時的な中長期的土地改良事業  
の継続など安定的な収量確保に向けた対策  
を講ずること、さらに、本格的な収穫期を  
迎えるにあたり、生育の遅れにより作業時  
期が集中することも予測され、例年にも増  
して農作業事故の注意を喚起するよう指導  
を徹底されたいなどの意見が出された。



農作物の作況調査

# 議会日誌

## 〔8月〕

- 7日 第5回臨時会
- 議員全員協議会
- 11日 例月現金出納検査報告  
書受理
- 17～18日 全道町村議会広報  
研修会  
～札幌市
- 27日 産業厚生常任委員会所  
管事務調査
- 28日 十勝町村議会議長研修  
会  
～大樹町

## 〔9月〕

- 4日 議員全員協議会
- 8日 例月現金出納検査報告  
書受理
- 10日 議会運営委員会
- 14日 産業厚生常任委員会
- 15日 豊頃町敬老会
- 16日 第3回定例会(1日目)  
(条例改正、補正予算、  
その他)
- 総務文教常任委員会
- 産業厚生常任委員会
- 17日 第3回定例会(2日目)  
(決算認定)
- 25日 第3回定例会(3日目)

(一般質問、意見書、  
その他)

## 〔10月〕

- 30日 議会広報特別委員会
- 産業厚生常任委員会所  
管事務調査
- 6日 例月現金出納検査報告  
書受理
- 8日 十勝町村議会議長会主  
催議員研修会  
～幕別町
- 14日 議会広報特別委員会
- 19日 議会広報特別委員会
- 産業厚生常任委員会所  
管事務調査
- 23日 札幌豊頃会  
～札幌市  
議会広報特別委員会

## ◎今後の予定

- 〔11月〕
- 7日 東京豊頃会  
～東京都
- 11日 全国議長大会～東京都
- 25日 第6回臨時会
- 〔12月〕
- 中旬 第4回定例会